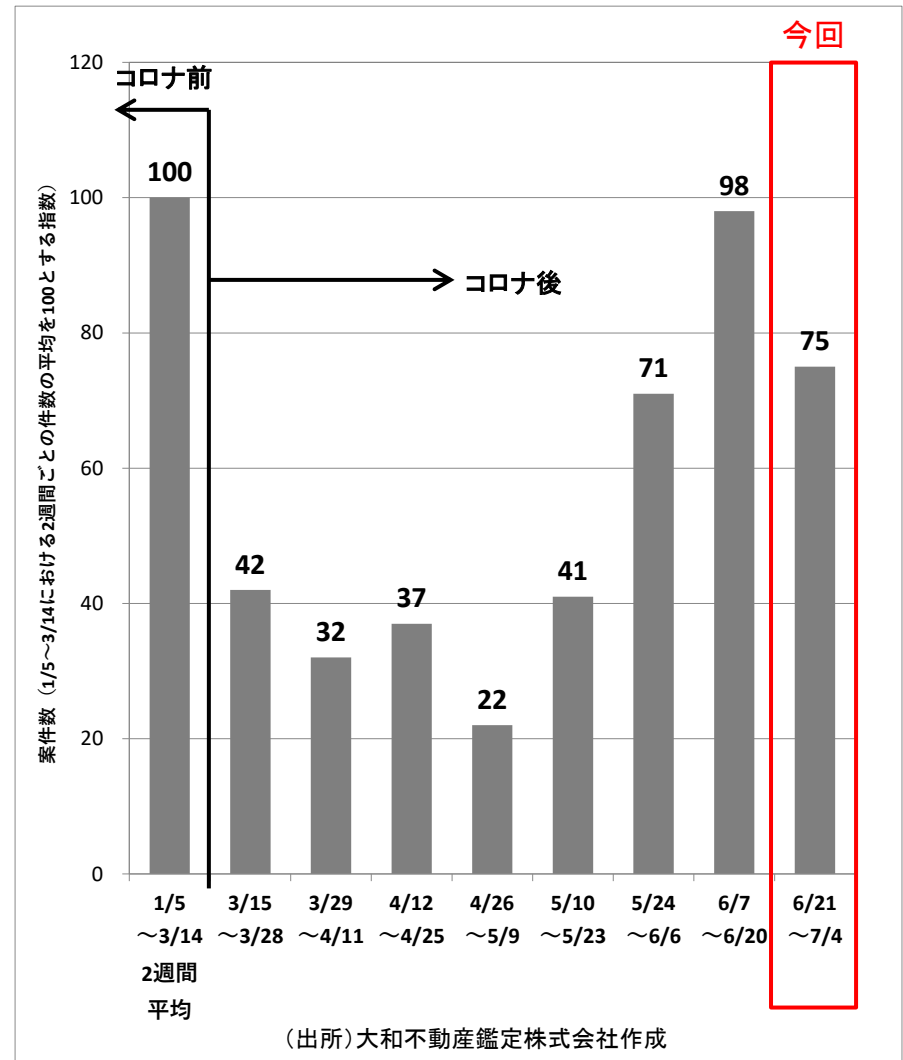


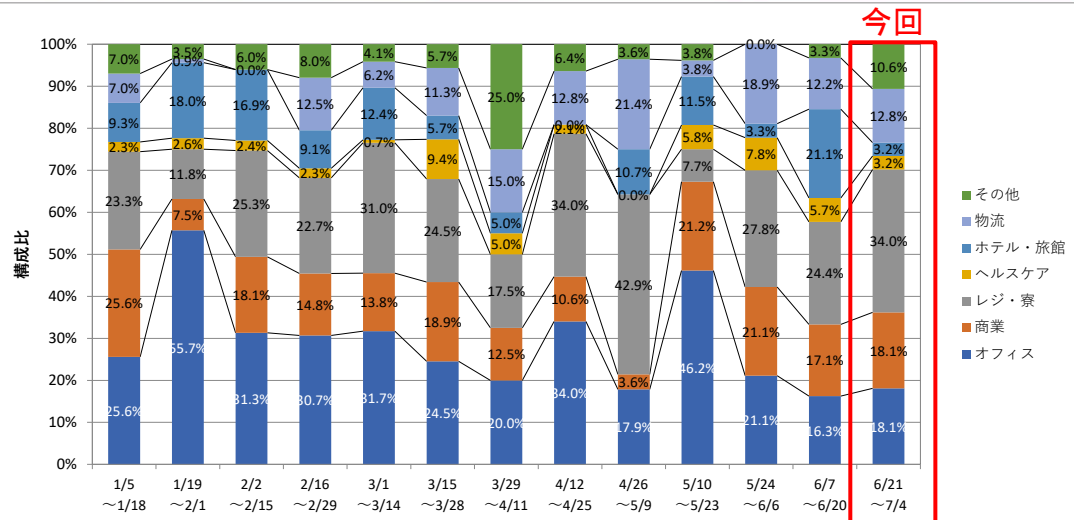
不動産取引市場の先行指標(鑑定問合せ件数の推移)

- 右図は、1月以降のお客様からの鑑定問合せ件数をコロナ前後の2週間単位で比較したものである
- コロナ前の2週間平均を100とすると、コロナ後は22まで落ち込んだが、GW明けから件数が増え始め、6月中旬には98まで回復した
- 6月下旬からの2週間は75となり、コロナ前の水準には届かず



アセットタイプ別・エリア別比率の推移

- 物流は概ね横ばい
- ホテルは大きく低下
- レジ・ヘルスケアは上昇
- 商業、オフィスはやや上昇



- 地方大都市圏はやや低下
- 近畿・中部はやや上昇
- 首都圏(都心5区除く)はやや上昇
- 都心5区は低下
- 都心5区を含む首都圏は低下
- 「その他」エリアは商業と物流が多く、比率は上昇

